

請 願 文 書 表					
受理年月日 及び番号	令和4年11月4日 第47号				
件名	中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の都立高校入学試験への導入をやめるよう都へ申し入れることを求める請願				
請願者	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 80%; height: 15px; margin-bottom: 5px; margin-left: 10%;"></div> <div style="background-color: black; width: 40%; height: 15px; margin-left: 30%;"></div> <p style="text-align: center;">外3名</p>				
紹介議員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">たかはま なおき</td> <td style="width: 50%;">沢田 けいじ</td> </tr> <tr> <td>小林 れい子</td> <td>田中 和子</td> </tr> </table>	たかはま なおき	沢田 けいじ	小林 れい子	田中 和子
たかはま なおき	沢田 けいじ				
小林 れい子	田中 和子				
請願の要旨	次頁のとおり				
付託委員会	文教委員会				

請願理由

東京都教育委員会が都立高校入試に中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）導入を強行しようとしています。

しかし、受験生、保護者や英語教育の専門家、教員は、公平・公正性が担保できない試験に対して不安や憤りを訴え、中止を求める声はますます広がっています。

私達が話を聞いた受験生・中学生からは「将来を左右する一生に一度の高校入試に不正なテストを導入しないでほしい。不受験でも得点が推定算出される措置<仮のESAT-J結果>で不受験者のほうが有利になるのはおかしいです。」「試験得点では1点差なのに調査書換算点では4点差にもなり得る換算方法を1点差で合否が分かれる入試に用いるのは問題だ。」「学力検査で合格圏内だったところに1教科相当の配点が出願直前に来るせいで志望校の変更をさせられるのは困る。」「英語スピーキング力の向上とは結び付かないし、別の負担が増えるだけ。導入の意味がわかりません。」などの切実な声があがっています。

採点の公平性、不受験者の対応、個人情報扱い、民間企業への利益供与・利益相反など多くの問題点が指摘されてきました。

また、新たな問題として、昨年9月の確認プレテストで多発したミス・トラブルが記された「中学校英語スピーキングテスト最終報告書」を東京都教育委員会が公表せず、都立高校入学者選抜検討委員会にも示していないことが明らかになりました。2021年3月にベネッセが東京都教育委員会に報告したミス・トラブルで一番多かったのが試験監督に起因するトラブルでした。しかし、試験監督の募集は「経験不問」「スキマバイト」と宣伝されており、スキルを身につけた試験監督でなく、不慣れで対応力のない試験監督が配置されることになり、試験運営は改善されるどころかトラブル発生が心配です。

英語スピーキングテストは到達度を測るためのテストです。東京都教育委員会には、学校や生徒にテストを強制できる法的権限はありません。しかもそれを入試に使うことは事実上の強制であり、教育基本法で禁止する「不当な支配」にあたります。

これは都立高校入試だけの問題と矮小化されるものではなく、公教育の在り方や責任の問題といえます。

複数のメディアにも取り上げられて東京都にとどまらない広がりを見せています。

そのため、保護者は中止を求める声をあげ続け、有識者は、慶應義塾大学名誉教授・大津由紀雄氏ら5人連名で、不公平な入学者選抜である上に、円滑な試験運営ができない可能性が高いと指摘し、都立高校入学者選抜に中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果を使用しないよう東京都教育委員会に10月14日付で要望書を出しています。

10月には、英語スピーキングテストの都立高校入試への活用中止のための都議会議員連盟が発足。都議会の3分の1を占める6会派42人の都議で結成されました。

都は、9月15日の都議会文教委員会において、中止を求める請願が継続審議中にも関わらず、11月実施・導入を強行しようとしています。

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の都立高校入学試験への導入は、いまだ都民・区民の合意形成ができていません。中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の都立高校入試への導入は中止するべきです。

よって次の通り請願いたします。

請願事項

- 1 中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の都立高校入学試験への導入をやめるよう、東京都教育委員会に対して要望して下さい。